

ひびき通信

平成 23 年
8 月版

こだわりの入浴セミナーが九月十一日(日)に当センターにて開催されます。お風呂にお湯を張り、実際に浴槽に入りながら、介護する側・される側を体験します。

こだわりの入浴セミナー 九月十一日に開催します

機械浴ではない「普通の浴槽」に「普通に入る」介護を身に着きたい方は、必修のセミナーです。受講料は三千円。定員十五名、詳しくは、ホームページのセミナー情報をご覧ください。

脳卒中やパーキンソン氏病 介護の基礎をしっかりと学ぶ

在宅サポートセンター生田のセミナー

10月23日開催



生活リハビリ研究所を主宰する三好春樹さん。

三好春樹さんのセミナーが、十月二十三日(日)に当センターで開催されます。生活リハビリ研究所を主宰する

三好さんは、全国で介護セミナーを展開し、生活リハビリをベースにした新しい介護を提唱する介護業界のカリスマ的存在。「完全図解・新しい介護」や「実用介護辞



遠藤尚志さん 写真のセミナー

十二月四日には失語症ケアの第一人者・遠藤尚志さんのセミナー

また、十二月四日(日)には、失語症ケアの第一人者である

を予定しています。詳細は決まり次第、次号またはホームページでお知らせします。どうぞご期待ください。

ひびき通信のページ

在宅サポートセンター生田のホームページが一部リニューアルしました。最新ニュースとして紹介している情報のなかから、特に詳しくお伝えしたい情報を最新トピックスとしてピックアップ。また、昨年十二月に創刊した「ひびき通信」の最新号とバックナンバーがPDFファイルでダウンロードできるページを開設しました。ぜひアクセスしてください。ホームページアドレスは、www.japan-care.jp。

三好春樹さんが登場

グループホーム響の雰囲気を知ってもらうことがスタート

ボランティア受け入れについて意見を交換

グループホーム響の運営推進会議がこのほど、当センター会議室で開催されました。会議には、栗谷自治会長の岸さんや地元住民の常松さんをはじめ、利用者の家族など十名が参加。ボランティアの受け入れについて協議しました。

参加者からは「ボランティアを希望する人に、グループホーム響をまず見てもらい、知ってもらうことが大切」「植木の手入れや掃除など、利用者に直接かわらないボランティアもいいのではないか」など、様々な意見が寄せられました。

各種保険外の業務型サービス
在宅サポートセンター生田

●密着型「ほっと生田」の新サービス
長期宿泊用のミドルステイ枠を設けました。

生田サポートセンター生田では、7月(日)より、介護保険外の業務型「ほっと生田」にミドルステイ枠を設け、長期宿泊用のサービスを開始しました。4泊5泊から7泊8泊までの長期滞在が可能なミドルステイ枠を設け、長期滞在が可能なサービスを開始しました。長期滞在が可能なサービスを開始しました。

●介護保険外の業務型サービス
退院後のリハビリや、急な出張、短期滞在などにぜひご利用ください。

●ミドルステイ利用のメリット
●1泊の滞在が1泊以上となる場合は、基本運賃は12000円(税別)と5000円(税別)に引き上げます。
●個室のサービスと個室を利用可能な個室も、お申し込みの際はご確認ください。

最新トピックスのページ

在宅サポートセンター生田のニュースが掲載!!

在宅サポートセンター生田では、毎月1日発行の「ひびき通信」を、ホームページ上で掲載しています。最新ニュースとして紹介している情報のなかから、特に詳しくお伝えしたい情報を最新トピックスとしてピックアップ。また、昨年十二月に創刊した「ひびき通信」の最新号とバックナンバーがPDFファイルでダウンロードできるページを開設しました。ぜひアクセスしてください。ホームページアドレスは、www.japan-care.jp。

ホームページ、さらに充実

「最新トピックス」と「ひびき通信」のページを開設しました